日中友好新聞

府連通信

2012年９月号
日本中国友好協会大阪府連合会
〒530-0013
大阪市北区
茶屋町10-6
阪急北ビル４階
TEL06-6372-8131
050-3413-6491
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail:jcfa@jt8.so-net.ne.jp
ホームページ
http://www005.upp.so-net.ne.jp/jcfaosaka/

発音の基本から日常会話の完成まで

秋の中国語講座十月一日から開講

一〇月一日から中国語講座が始まります。府連主催の中国語講座は九七期を迎えました。初心者から上級者まで二十数クラス、２００名が学んでいます。

仕事や趣味にもニーズが高い中国語をはじめませんか！　中国語を学んで派遣から正社員になることが出来た生徒さんや、中国で事業を展開している生徒さんもおられます。阪急梅田駅茶屋町出口から徒歩一分という便利な立地、発音の基本から文法、日常会話の完成をめざす、親切丁寧な授業が特徴です。

個人レッスンも開設しています。会員割引もありますので、ぜひ中国語講座にお越し下さい。（授業の見学は無料です）

初心者のための中国語無料レッスンを三回にわたって開催します。これから中国語を学んでみたい人のための入門レッスンです。

誘いあってご参加ください。

「中国への関心に応える企画」を旺盛に

理事長就任にあたって　　松尾　豊

七月に片山さんの後を引き継いで理事長に就任しました。四年間、東京に単身赴任し、昨年九月から大阪で活動できるようになりました。よろしくお願いします。

今年の府連大会は、日中国交回復四〇周年、盧溝橋事件・南京事件から七五年、平頂山事件八〇年の節目の年に開催されました。大阪府連は結成六〇年余、国際友好団体の老舗として大阪において他の団体とともに日中国交回復、平和と民主主義の運動の一翼を担ってきました。

いまや中国抜きの日本経済は考えられないし、国際政治での中国の役割・影響はますます大きくなっていくでしょう。身近な国、隣国として平和五原則に基づく草の根の交流が、今以上に盛んにすすめられる必要があります。

しかしながら、尖閣諸島の領有問題や中国の軍事力増強などもあって、「中国は日本を脅かす有害な国だ」という「中国脅威論」がマスコミなどを中心に報道されています。日中両国関係の発展に大きな障害を作り出しています。

侵略戦争の反省・謝罪もなく、いまだにつづく日本政府の「中国敵視策」に対して、人民中国誕生からずっと、「日中不再戦」を掲げ、草の根の日中友好を協会は進めてきました。最近の「中国脅威論」に対しては、その背景や根源を考え、友人知人に「中国」を語り、誤解を解きほぐしていく活動こそが、友好の輪を広げる確かな道です。

すでに発表されている、一〇月の「漫画展」や十一月の「南京・・・平和の旅」など以外に、近年弱かった「中国への関心に応える企画」を、経済、教育、歴史など各界の方に協力いただいて、学習会や講演会を計画し取り組もうと、渡辺会長を先頭に役員会で話し合っています。

多彩に行事を組んで、多くの人にかかわってもらう中で会員・準会員を迎えたいものです。

創立六十年を超えて進めてきた「友好の輪」をいっそう広げるため、会員のみなさんの知恵と力を府連にお寄せくださることを、心よりお願いします。

初心者のための中国語無料レッスン

①９/２５（火）10：00～11：30
②９/２５（火）18：30～20：00
③９/２９（土）10：00～11：30

参加費無料

会場：梅田・茶屋町
日中友好協会中国語教室
定員：各講座１５名
お申し込みはお電話で
TEL：06-6372-8131
FAX：06-6372-8132

中国からの引き揚げ漫画展

10/11(木)～16(火)10時～18時・11日は13時～

梅田・芝田町画廊・資料代500円

戦争を体験し、日本に引き揚げてきた、少年達の目に映った、中国の人々や風景、戦争直後の日本の様子が描かれています。

「南京・揚州・鎮江・上海」平和の旅

11/16(金)～20(火)
関空発着
旅行代金：134000円
燃油・諸税など17000円
全行程添乗員同行

旅行企画：日中友好協会大阪府連合会

徳道君の急逝を惜しむ

金治　貞男
（元大阪府職労委員長・太極拳難波教室）

八月二十日、徳道光宏君が急逝した。その報に接した時、と ても信じることができなかった。

「この前まで一緒に太極拳をやっていたではないか」

「三月に一緒に中国・貴州省に行ったではないか」と、今でも彼の急逝を信じることが出来ない。

私は、彼が大阪国公の役員をしていた当時から知ってはいたが、親しく付き合うようになったのは、太極拳の練習が終わると、近くの中華料理屋で一杯飲むのが習慣で、私も参加するようになった。国税出身の彼が注文から勘定まで仕切った。彼は中国語も達者で、中国に五〇数回も行ったことのある「通」である。

徳道・金治・尾中さんと３月貴州省へ

三年前には瀋陽から集安への旅行に一緒に行き、同室でいろいろ話を聞かせてもらった。帰国前日、瀋陽で私が突然発熱した時には、瀋陽大学付属病院に連れて行ってもらい大変お世話になった。そして今年三月には貴州省に一緒に行き、今回も同室で遅くまで一杯飲んだ。

彼は顔に似合わず（故人に怒られるが）大変気配りがきき、優しい好人物で、みんなから信頼されていた。これからまた一緒に中国に行き、いろいろ教わりたかったし、付き合いを深めたいと思っていた矢先の急逝で残念でならない。

徳道君、安らかにお眠り下さい。

全国きりえコンクール秀作作品展

大阪きりえセンターでの開催は、五回目となり、最優秀作、会長賞、優秀作品の十二点と、大阪からの出品で、佳作四点、入選四点を展示しました。

八月十五日から八日間の会期で入場者は六〇名でした。「力作がそろっていますね」「表現方法にも工夫がみられます」「もっと大きな作品で、来年は挑戦してみたい」「いつも楽しみにしています」等々、感想が寄せられました。二八日から平和美術展も開催され、きりえも展示されていました。

きりえ展

関西平和美術展

中国経済トピックス②　副会長・山本恒人

伸び悩む消費、格差拡大傾向に歯止めかからず

中国のＧＤＰ＝国内総生産に占める民間最終消費の割合は、実は、改革開放政策が始まった１９８０年代初期には五〇％台に乗っていたのですが、その後経済成長とともに三五％前後に落ち込んできているのです（２０１０年数値）先進国は六〇～七〇％に達しています。

増えた筆頭が投資割合で四九％、日本の倍近くあり、オリンピックや万博を挟んで、中国至る所で繰り広げられた、高速道路や高速鉄道の建設ラッシュが思い起こされます。ああ、日本の高度成長期と一緒なんだと思われがちですが、日本の場合はその過程で経済格差が縮小する時代に入ったのです。中国はよく紹介されるように、都市と農村の所得格差は三倍以上あり、まだ格差拡大傾向に歯止めがかかってはいません。

経済格差の存在を最も端的に示すのがジニ係数という統計です。これは全人口のそれぞれの所得が平等に分布しているのか、不平等に分布しているのかを計算して表すもので、０～１の間の数字で示されます。

全人口の所得が完全に平等であればゼロ、全人口中たった一人が社会の全所得を独占しているという究極の不平等の場合は一と示されます。それゆえ、実際には各国のジニ係数は〇、二とか〇、六という数字で出ます。

大まかに表すと、デンマークは〇、二五、日本〇、三五、アフリカの多くの国は〇、六というふうに。経験則的には、ジニ係数が〇、五（警戒ライン）を超えると、その国の政策が変更されない限り、社会不安や内乱、クーデターといった社会の危機状況を迎えてしまう、と考えられています。

中国では最近ジニ係数のデータを公表しなくなっているのですが、世界銀行が発表した２００４年の中国のジニ係数は〇、四七と警戒ラインに近づいていることが分かります。

この時点での所得分布は、全人口の二〇％を占める上位所得層が、全社会の所得の五二％を占有し、全人口の四〇％を占める下位所得層は、全社会の所得の十二、八％しか得ていない状態にあります。

華やかな高度成長を謳歌しているように見えても、多くの人々がそれから取り残されたままでいます。それがＧＤＰに占める「民間最終消費」の割合を押し下げ続けているのです。

中国「残留孤児」の配偶者の生活支援を求める請願署名！

残留孤児の生活は、新支援法により改善されましたが、中国「残留孤児」が死亡した後も、配偶者がその生活水準を維持できるよう、新支援法を改正して、手厚い支援を求めて請願署名を集めています。

みなさんのご協力をお願いします。